



## 書道教室



6日（水）に書道教室が行われ、二班の方が辻先生にご指導いただきました。

お手本を見ながら、難しい漢字にも挑戦されていました。



## 絵画教室



22日（金）に絵画教室が行われました。

絵の具に挑戦し、いろいろな色を混ぜ合わせて自分流の色を作って塗っていました。

とても綺麗な色を作り出していました。



# ウイズたより

NO.98号  
令和元年11月号

### 年間目標

「休まずウイズに来よう」  
月間スローガン  
「思いやりを持とう」



めっきり寒くなってきました。  
全国的にもインフルエンザが流行しています。  
手洗い・うがいをしっかり行い、お体に気をつけてお過ごし下さい。



新施設『カノン』の建設が  
順調に進んでいます。

11月より就労継続支援B型に配属になりました。これまでも障害者の方々に関わるお仕事をさせていただいておりましたが、和歌山へは今年引越してきただけで、分からないことも多々あるかと思えます。その中でもより良い支援が出来るよう頑張りますので、宜しくお願いします。



## 新職員紹介

生活支援員 黒岩 桜

## 11月のメニュー



- ・ご飯
- ・じゃがぼちゃ
- ・コロッケ
- ・イカ大根
- ・豚汁・漬物



- ・ご飯・みそ汁
- ・秋刀魚みりん焼
- ・かき揚げ
- ・じゃがいも煮
- ・もやし酢

秋は栗やサツマイモ、梨、ぶどう、それから私たちの主食となるお米など、多くの食材が旬を迎える秋はいつもより食欲が増すという考えから『食欲の秋』と呼ばれるようになったそうです。



## 12月のスケジュール

- ・6日（金） 音楽療法
- ・13日（金） 工賃支給日
- ・14日（土） 1日レク
- ・16日（月）～18日（水） 紀北実習 就労B型（2名）
- ・18日（水）～20日（金） 紀北実習 生活介護（1名）
- ・20日（金） 牧野クリニック健診
- ・28日（土） 大掃除
- ・29日（日）～1月5日（日） お正月休み

## 12月の職員施設外研修

8日（日）

強度行動障害支援者養成研修（連続）

## 《研修報告》

### 令和元年度 和歌山県サービス管理責任者基礎研修

日時／令和元年10月8日(火) 11月14日(木)・15日(金)

参加者／関 英子

サービス管理責任者（サビ管）の主な役割は、①支援プロセスの管理 ②直接支援者（直接処遇職員）への指導や助言 ③関係機関との連携 があげられます。

①支援プロセスの管理については、障害を持つ利用者が障害福祉サービスを利用する前に必要となるのが、「個別支援計画」です。この計画には「利用者がどのような障害特性を持っているのか」「今後どのようにしたいのか、したいのか」という情報に基づいた目標設定などが書かれています。サビ管は個別支援計画を作成するために、利用者やご家族と面談し、現在の状況や相談の背景などを把握して目標設定する「アセスメント」を行います。そこで得られた情報をもとに個別支援計画の原案を作成し、支援を提供する担当者らによる会議を行い計画を修正していきます。その後利用者やご家族と面談し、個別支援計画の内容の説明を行います。了承が得られた後は、計画の進捗を調査（モニタリング）して、必要に応じて計画の見直しを行います。

②直接支援者（直接処遇職員）への指導や助言については、サービスを管理する立場として、チームのマネジメントも重要な役割の一つです。

③関係機関との連携については、相談支援事業所や医療機関などと連携を取り、利用者の希望するサービスが提供されるよう調整を行います。

以上から、サビ管は、障害福祉サービスの分野では中心的な存在です。人材育成やサービスの質を高める役割も求められています。支援は、チームワークが最も重要です。利用者が目標を達成するためには、サビ管だけでなく支援者、家族が一つにならなければなりません。サビ管は、チームのブレーンであり、リーダーであり、潤滑油でもあると考えます。

### 令和元年度 清掃業務パワーアップ研修

日時／令和元年11月16日(土)

参加者／西畑 二三代

清掃はどの職場でも大いに活用されています。また自宅でも日常生活の中に清掃の習慣があるようにごく当たり前の事ですが毎日となると大変な事について手抜きがちになってしまうのが現状です。今回は清掃をしないとどうなるか、清掃の大切さを勉強しました。この研修の主催者は全国ビルメンテナンス協会の方で建物の構造や室内に使われている床や資材についても具体的に説明して下さい、その内容は建物内で使われている資材によって使われる掃除用具や洗剤がそれぞれ違っている事です。使い方1つで高価な床や壁紙、天井を傷付け、破損にまで及ぶことがあります。そういったトラブルを避ける為にも正しい清掃方法を知る必要があります。重視されたのはほうきやモップ、雑巾の使い方、洗剤の使用法や選び方でした。洗剤の液性は次のいずれかに位置します。酸性・弱酸性・中性・アルカリ性・弱アルカリ性の分けられています。洗剤を他の物と混ぜ合わせると有毒ガスが発生して大変危険とされています。また洗剤の作用としては分離作用、界面活性剤、研磨剤、溶解、溶剤、酸剤、分解、アルカリ剤、漂白剤と種類があり汚れの成分によって使い分ける事が大切です。よく自宅などで洗濯をする時はお湯を使っても良いとされていますがすぎは必ず水で行う様に言われています。それはお湯ですすぎをすると洗剤が活性化して衣類からなかなか洗剤が落ちないからだそうです。昔の様にハタキを持って掃除する時代ではありませんが清掃をする事で常に衛生的で健康的な生活が送られるのも確かです。他にも広いフロアを清掃する為の清掃機や吸水機器の取り扱い方も学んできました。今後は機械を使っただけの清掃を私達職員だけではなく利用者の皆さんにも体験できたらと思っています。